

2025年度



事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1-6
大阪大学大学院法学研究科内
TEL&FAX.06-6850-5198
E-mail ishibashi@seiunkai.net
https://www.seiunkai.net/



青雲会ホームページ

2025年4月25日

編集・発行

青雲会(大阪大学法学部同窓会)
会長 山西 雅人

青雲会 会報

印刷 株式会社 絆コーポレーション

2025年度 青雲会総会のご案内

講演会のテーマ

「‘オールドメディア’の現在位置～
SNSは便利やからなあ、とぼやきつつ」
【講師】毎日放送総合編成局アナウンスセンター長
西 靖氏(青雲会42期)

日時

2025年7月19日(土)
午前10:30～

10時30分～11時25分 総会
11時30分～12時30分 講演会
12時40分～14時30分 懇親会

参加費

一般 **10,000円**

卒業後5年以内:4,000円、
学生(未入会):2,000円、学生(入会済):1,000円

ご出席の方は、会費の**前納**をもって申込みとさせていただきます。
同封の払込み用紙をご利用ください。

または、青雲会ホームページ会員専用サイトでクレジット
カード払いもご利用いただけます。

■**払込み期限 6月20日(金) [必着]**

会場

千里阪急ホテル

樹林の間(総会・講演会)、クリスタルホール(懇親会)
〒560-0082 豊中市新千里東町2-1
TEL 06-6372-8800

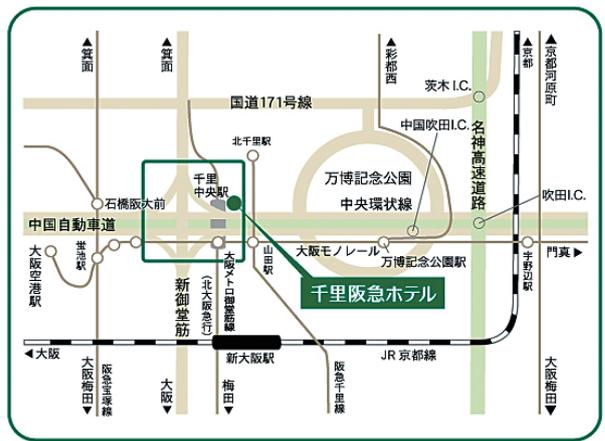
千里中央駅から徒歩約5分



毎日放送総合編成局
アナウンスセンター長 **西 靖**氏

<プロフィール>

毎日放送総合編成局アナウンスセンター長。
相愛大学客員教授。神戸女学院大学特別客員教授。
1971年岡山市生まれ。
1994年、大阪大学法学部卒業後に毎日放送(MBS)
に入社。
アナウンサー1年目で阪神淡路大震災を経験。
2010年にMBS開局60周年企画「60日間世界一周」
で23の国、地域からリポート。2011年から「ちちんぷ
いぶい」メインパーソナリティ。2014年からは報道番
組「VOICE」「NEWSミント!」のメインキャスターを務
める。現在はMBS総合編成局アナウンスセンター長。
著書「おそろおそろの育休」(ミシマ社)、「辺境ラジオ」
(140B)、「西靖の60日間世界一周 旅の軌跡」(ぴ
あMOOK)、「聞き手西靖 道なき道をおもしろく」
(140B)、「せかいのこども」(朝日新聞出版)など。



青雲会会長 ご挨拶

福田健次前会長から青雲会会長職を引き継ぎました30期の山西雅人と申します。西尾前々会長・福田前会長には副会長として仕え、4月からは一人の幹事として活動しようと考えていたところ、福田前会長から「次期会長は(幹事数最多の)30期の方をお願いしたい。」とのご指示があり、錚々たる先輩方がおられる中で会長職をお引き受けすることには躊躇しましたが、私が引き受けることになりました。

私は、1978年(昭和53年)に入学し、同郷(徳島市)の先輩である故松島諄吉先生のゼミ(行政法・地方自治法・税法)で学びました。とても楽しい4年間の学生生活でした。卒業後は住友生命保険で定年まで勤務し、その後兵庫県西宮市にある加藤産業で勤務しました。社会人になってからも遊びに仕事に、青雲会会員・準会員の皆さまには大変お世話になりました。

さて、昨年度は法学部創立70周年、高等司法研究科創立20周年、青雲会創立70周年を記念して豊中キャンパスの主要教室に録画配信システムを設置するというので、この事業に対して会員の皆さまにもご寄付をお願いしたところ、おかげさまで事業実施に必要な資金を集めることができました。本当にありがとうございます。

一方、青雲会はここ数年、赤字収支が続いています。昨年、会費に関する規程を改正し、今年度から入会金を20,000円から5,000円に引き下げるとともに、年会費を年3,000円から年4,000円に引き上げることになりましたが、これで収入増加につながるかどうかは未だ不透明な状況です。このような中、各種コスト削減策を考えてはまいります、会員の皆さまには運営賛助金制度の活用により一層のご支援・ご協力をいただきましたら幸いです。

昨年、準会員組織として学生部(Law Crew)が発足し、すでに活動を開始しています。今後、準会員の皆さまが青雲会のネットワークに参加して、そのネットワークを十分活かすことができるよう活動することを期待しています。

在阪以外の人も含め会員の皆さまに「会費を支払う価値がある!」と思っただけの活動(ウェブシステムなども利用した交流・親睦の場の提供、後輩学生のキャリア支援など)を心がけていきます。

ご支援、ご協力くださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。



会長 山西 雅人 (30期)

青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長
大阪大学法学部長

長田 真里 (41期)

この4月に法学研究科長・法学部長を拝命いたしました長田真里と申します。青雲会会員の皆様には、日頃より法学研究科並びに法学部の諸活動に、様々な形でお力添えを賜っておりますこと心から御礼申し上げます。また、昨年度には、法学部創立70周年また青雲会創立70周年に際しまして、多大なご寄付を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。おかげさまでもちまして、講義室からのオンライン配信が可能となる設備を整えることが出来、今後は、遠方の会員の皆様にもわざわざお運びいただかなくとも、大学での記念講義等をご視聴頂くことが可能となりました。法学部を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

近年、大学をめぐる状況は大きな変化を遂げております。1つには、法学部における早期卒業制度の本格的な運用の開始、またもう1つには、就職活動の時期の早期化が挙げられます。いずれも、現在の学生から、学生生活ならではと感じておりましたゆとりや余裕を奪ってしまっているようにも思えて仕方がありませんが、このように窮屈な生活を強いられている学生たちにとりまして、青雲会ご所属の会員の皆様のご経験を共有くださる機会は何よりも代えがたいものであるも存じております。

大阪大学法学部／法学研究科がさらに発展して参りますには、青雲会会員の皆様のご支援ご鞭撻が何よりも重要と考えております。どうぞ今後も在学生会員へのご指導、ご支援を賜れますようお願い申し上げます。

❖ 国際公共政策学科長 ご挨拶

今年4月より、国際公共政策研究科研究科長および国際公共政策学科長を拝命いたしました。青雲会の皆様には、日頃より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

国際公共政策学科は2008年に開設され、法学・政治学・経済学を横断的に学べる学科として、政策課題の解決に資する教育・研究を推進してまいりました。近年、グローバル化の進展により、商品・人・資本の移動が加速する一方、多様なアクター間の利害調整や価値観の対立をめぐるガバナンスの課題が深刻化しています。こうした複雑な課題に対応するには、学際的な知見を基盤とし、論理的思考に基づいて政策を構想・実行する能力が求められます。

国際公共政策学科では、実証分析と理論的枠組みを重視しつつ、実務との接点を意識した教育・研究を推進し、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。今後とも青雲会の皆様と連携し、教育・研究環境のさらなる充実に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



国際公共政策学科長
大槻 恒裕

❖ 高等司法研究科長 ご挨拶

3年前に高等司法研究科長を拝命し、今年度がその最終年度になります。これまで無我夢中で科長業務を務めて参りましたが、今年度はその集大成が求められるものと覚悟しております。青雲会の皆さまからは毎回温かいご支援を賜ってきました。過去にいただいたご厚情に対しては、いくら感謝しても感謝しきれません。そのご厚情に応えるべく、今年度も精進に努めますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

既にご承知の皆さまもいらっしゃるかもしれませんが、法曹養成を使命として設立された高等司法研究科は、昨年、創立20周年を迎えました。20周年という節目の年を一つの区切りとして、在学生、修了生、教職員の三者は自らの足元を見つめ直し、あらためて連携を図っていくことを確認しました。本研究科の教育理念である「新時代を担う、真のLegal Professionalsの育成」を中核に据え、司法試験CBT化への対応などの新しい課題とも向き合いながら、法曹養成に特化した専門職大学院として、更なる高みを目指す所存です。

そのためには「司法試験という『点』のみによる選抜ではなく、法学教育、司法試験、司法修習を有機的に連携させた『プロセス』としての法曹養成」という法科大学院の当初構想を堅持し、ブレないことが重要であると思っています。青雲会の皆さまからの変わらぬご支援を賜ることができれば、これに勝る喜びはありません。ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



高等司法研究科長
松本 和彦 (36期)

❖ 大阪大学法曹会 ❖



就活懇談会風景



合格祝賀会風景

大阪大学法曹会は大阪大学を卒業して司法試験に合格した方と大学教員で構成されています。会員相互の資質向上と親睦を図り、さらに高等司法研究科学生に対して支援を行っています。

大阪大学大学院高等司法研究科は、受験生の努力や法曹会会員弁護士の支援等によって令和6年度は72名の合格者を出し、また大阪大学法学部を卒業され消息が分かっている方だけでも19名の合格者を出しました。

2024年12月11日には大阪弁護士会館にて就活懇談会、合格祝賀会を開催しましたところ、多くの合格者や会員が集まりました。

現在、法曹会では高等司法研究科後援基金を通じて下記の支援を行っています。

1. 法律文書録成講座・弁護士アドバイザーによる法律文書の書き方指導
2. 修了生勉強会…未合格修了生に対する弁護士講師のグループ指導
3. 必要資金の援助…成績優秀者表彰、中野賞授与
4. 合格者に対する就職活動懇談会…2024年度は34名の合格者が参加

大阪大学法曹会では新たにメーリングリストを作成しました。登録がまだの会員の方は法曹会事務局(housokai@seiunkai.net)にご連絡ください。

2024年度 総会報告

日時 2024年7月20日(土) 10時30分開会
場所 大阪新阪急ホテル「紫の間」
講演 テーマ「激震の国際情勢と日本の針路」
講師 大阪大学特任教授・グローバル寺子屋「藪中塾」主催
 藪中 三十二 氏(18期)

青雲会創立70周年の節目となった2024年度の青雲会総会は7月20日に大阪新阪急ホテルにて開催されました。当日は、末永敏和名誉教授、水島郁子副学長をはじめとするご来賓の先生方、武田邦宣法学部長、中嶋啓雄国際公共政策学科長、松本和彦高等司法研究科長ほか多数の現職教員のご臨席のもと、参加者91名での開催となりました。

1 総会議事(10:30-11:35)

福田健次会長の開会の挨拶に続き、武田法学部長の祝辞をいただいたあと、福田会長からの2023年度会務会計報告に続き会計監査報告がなされいずれも承認を得ました。次に、2024年度事業計画案および予算案が提出され、いずれも承認を得ました。また、重要議案の入会金と年会費の改定案については活発な議論や質疑応答のあと、「会費に関する規程」の改定が承認され、2025年4月1日より、入会金が5,000円に、年会費が4,000円に改定されることになりました。続いて役員と新幹事の紹介があり、高橋慶吉副会長・学内幹事による大学の現状報告のなかでは、青雲会の学生組織Law Crewの設立の紹介がありました。最後に、大阪大学共創機構の中村麻貴特任研究員より大学の寄付に対してのお礼の言葉が述べられました。



会計報告を拍手で承認



福田会長挨拶

2 講演(11:40-12:40)



講演会講師の藪中三十二先生

元外務事務次官で、現在はグローバル寺子屋「藪中塾」を主宰され、大阪大学大学院国際公共政策学科特任教授としてもご活躍の藪中三十二氏(18期)より、アメリカ、中国を中心に、ロシア・ウクライナ情勢やパレスチナ情勢を含む国際情勢について、簡潔ながらもわかりやすくお話しいただいたうえで、国際社会における我が国の置かれた状況を踏まえ、我が国の進むべき道について貴重なご示唆をいただきました。とりわけアメリカ情勢では、我々も非常に関心の高いアメリカ大統領選挙の情勢について、鋭い洞察力に基づいた確かな分析により、当時はまだ大統領選への強い出馬意欲を表明していた民主党のバイデン大統領が程なく撤退を余儀なくされることを見事に言い当てられました。また、中国情勢では、台湾有事勃発の可能性を踏まえつつ、台湾有事に対する我が国の対応方針について貴重なご示唆をいただきました。

3 懇親パーティー(12:45-14:30)



懇親会の様子

5期の的場悠紀先輩による乾杯のご発声でスタートした懇親パーティーは、今年も菅聡一郎幹事(40期)の名司会により進められました。懸賞論文受賞者のご挨拶、東京支部と名古屋支部の活動報告の後は、先輩方からご提供いただいた豪華賞品をかけた恒例のビンゴ大会。菅幹事オリジナルの団体戦ルールに加え、お目当ての賞品かどうかはともかく、参加者全員に何らかの賞品を持ち帰ってもらえる、参加者に優しいビンゴ大会は今年も大好評でした。最後は、山本茂伸幹事(22期)の音頭による恒例の大阪締めにて、盛会のうちにお開きとなりました。



大阪締め 山本茂伸さん

文:坂川 雄一(47期)

2024年度青雲懸賞論文受賞者決定



A:法学部門

- 1席** 法4年 篠原 歩
「DPFの法的統制の検討」
- 2席** 法4年 小川 響
「オンライン国会をめぐる憲法上の課題」
- 佳作** 法3年 田中 敬登
「詐害行為取消しによる財産回復義務が遅滞に陥る時期に関する考察」
- 新人賞** 法1年 孫 小雪
「ソーシャルメディア上における誹謗中傷・プロバイダが担うべき責任とは」

2024年度の青雲懸賞論文は、多数の応募の中から以下の7本が優秀論文として選ばれました。受賞者には3月25日の法学部卒業式にて福田会長から表彰状と賞金が授与されました。また2025年7月19日に開催される青雲会総会にご招待します。本年度も10月に募集を開始する予定ですので、在学生の皆様からのたくさんの応募を期待しています。

B:政治学・経済学部門

1席

公4年 石村 怜奈 公3年 板野 英弥
公3年 三木 優奈

「自治体のがん検診無料化政策はがん検診の受診率を高めるか—大阪府の市町村別パネルデータをを用いた分析—」

2席

法2年 鶴田 皓也

「なぜJ-POPはK-POPに負けたのか？」

佳作

公3年 天野 慧 公3年 川口 真旺

「教師の労働時間は生徒の成績に影響するか」

(本年度応募件数 A部門4件、B部門11件、合計15件)

2024年度卒業式・卒業修了祝賀会

2025年3月25日(火)、豊中総合学館にて法学部卒業式があり、法学部法学科より158名、国際公共政策学科より75名、計233名、法学研究科より37名の合計270名が卒業・修了されました。

法学部優秀賞の表彰に続き、2024年度の青雲懸賞論文入賞者の表彰が行われました。各受賞者には青雲会福田会長から表彰状と賞金が授与され、卒業生の皆さんからの温かい拍手をもって祝福をいただきました。

表彰式のあと、会場をL7講義室に移して卒業修了祝賀会が開催されました。武田法学部長の開会のお言葉、中嶋法学副部長の乾杯のご発声に始まり、しばしの和やかな歓談のあと、恒例となったビンゴ大会で大いに盛り上がりました。今回の企画・進行は青雲会学生部Law Crewの皆さんに担当していただき、滞りなく盛会のうちに祝賀会を終えることができました。

卒業生の皆さんのこれからの一層のご活躍をお祈りするとともに、青雲会の正会員となられた皆さんの青雲会活動への積極的なご参加をお待ちしています。



青雲会学生部「Law Crew」のご紹介



原田其面市長の講演会にて



青雲会学生部は同窓会である青雲会と現役学生を繋ぐ組織として2024年に発足した組織です。

昨年度は、法学科OBで現在箕面市長を務めていらっしゃる原田りょうさんにお越しいただき講演会を開催。また、例年青雲会の主催で行っている卒業祝賀会の運営なども務めさせていただきました。

青雲会主催では初となる法学部新入生歓迎会の開催や、新入生向けの履修登録相談会の主催など、法学部生の横と縦のつながりを強めるための活動をしています。

青雲会、そして阪大法学部のより一層の繁栄のため、着実に活動してまいりますので、何卒ご支援のほどよろしくお願いいたします。

青雲会学生部 Law Crew 初代代表 捧 浩太郎



“青雲塾”で再発見!!

青雲塾担当 山西 雅人(30期)

昨年度の開催内容は以下のとおりです。講師の方からいただいた感想を掲載しております。今後も、会員・準会員の皆様のご参加をお待ちしております。 <https://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

第80回 2024年7月27日(土)

「夫婦の氏をめぐって」～歴史的背景と課題～

井戸田 博史 氏(青雲会8期)

帝塚山大学名誉教授、日本法政学会名誉理事、法学博士

青雲塾「夫婦の氏をめぐって～歴史的背景と課題～」の案内状が5月14日に発送された後に大きな動きがあった。6月10日に経団連が平成8年法制審議会答申「選択的夫婦別氏制」を支持する政策提言をした。政府も軽視できないであろう。法律の制定・変遷の背後には立法事情がある。立法事情の激変がキーワードである。夫婦の氏法制も同じである。嫁入り婚・早婚等、女性・家族の国内外の変化は民法の夫婦同氏制を動揺させる。明治以降の夫婦の氏法制と立法事情の変遷、法律用語としての氏の確立、法制審議会の選択的夫婦別氏制案をめぐる攻防等を明確にした。家族の多様性等の立法事情の激変を勘案すれば、民法改廃もやむを得ないとし私案を提示した。山中永之佑名誉教授は明治民法「家」制度に由来の氏を想起させる別氏ではなく別姓を主張されるが、夫婦別氏にこだわる理由を説明した。旧氏通称使用の拡大と限界、裁判の流れ、戸籍への影響等々に言及できず、反省している。



米寿を迎えた講師の井戸田先生



講義の様子

第81回 2024年12月21日(土)

「意外と知らない食品表示の話」2 ～原原(加工食品の原料原産地表示)の巻～

菅 聡一郎 氏(青雲会幹事40期)

弁護士・わかば総合法律事務所

難しい議論の末に決められ、現在適用されている原原表示のルールは、複雑な例外表示の意味や背景を読み取って、上手に日々の食品選択に活用することが求められています。その考え方の基本について、母校のみなさまと一緒に考える貴重な機会をいただきました。朝早くから熱心にお聴きくださり、大変感謝致しております。



講師の菅弁護士



講義の様子

完全施行から2年を経て事後検証も行われ始めていますが、

周知の難しさが指摘されています。制度の見直しの可否を議論する上でも、是非みなさまご自身がご関心を持って評価をしていただけたらと思うばかりです。私のお話にて、これからのみなさまの食生活にとって少しでも役立つ部分がありましたら大変嬉しく存じます。

面白かったとのありがたいお声も頂きました。まだまだ一緒に考えていただきたい多くのテーマがあります。また情報提供の機会を与えていただけたら幸いです。ありがとうございました。

青雲会囲碁同好会のご案内

気楽な雰囲気です。点数制でハンディをつけて棋力に関係なく楽しめます。ぜひ参加して、交流や棋力の向上を図ってください。

イベントでは他の同好会などとの対局も楽しめるかも。ご参加の際は幹事に連絡いただくか、当日、受付で青雲会とお伝えください。

定例会
(予定)

日時:令和7年5月17日(土) 13:00~17:00

11月15日(土) 13:00~17:00

令和8年2月21日(土) 13:00~17:00

場所:梅田囲碁センター

大阪市北区太融寺町6-8 阪急産業梅田ビル5階

席料:無料(青雲会から補助金が出ています)



・イベントにも奮ってご参加ください。

8月(今年は23日予定):トーナメント大会(梅田囲碁センター、食事会)

(別途、参加費用をいただきます。優勝賞品あり)

連絡先 青雲会囲碁同好会幹事 銭尾 正和(ぜにおまさかず) 電話番号:080-7035-9285 E-mail:tennohikarihasubetehoshi@hotmail.co.jp

東京支部だより

東京支部長 西畑 一哉 (27期)



● 東京支部 連絡先

〒102-8336
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学
TEL 03-3261-1298
FAX 03-3261-1291

支部長 西畑：
k-nishih@nishogakusha-u.ac.jp
幹事長 篠崎：
mitsuhiro.shinozaki@onoff.ne.jp

青雲会(大阪大学法学部同窓会)東京支部長の西畑一哉です。1979年3月に法学部を卒業、日本銀行勤務を経て2015年9月から九段にある二松学舎大学に籍を置いております。

東京支部の活動ですが、2024年5月31日(金)には、東京待兼会主催(共催青雲会東京支部)で、大阪大学名誉教授・中央大学経済学部教授の阿部顕三先生から「SDGsと貿易―フェアトレードを中心として―」との演題でご講演いただきました。SDGs関係の一つの制度であるフェアトレードについて、仕組みと動向について詳しくご説明いただき、理解が深まったと思いました。

2024年の青雲会東京支部総会は12月14日(土)午後二松学舎大学で本部より武田邦宣法学部長にご出席いただき開催しました。その後の講演会(共催東京待兼会)では新制28期の松田邦夫さんから、「居合と刀の魅力～赤穂義士討ち入りの日に～」との演題で、剣道少年が中年になって始めた居合の魅力と、世界史上最強の刀剣と呼ばれる日本刀の奥深さやエピソードについて、お話いただきました。松田さんは、英・独・仏語全てで1級をお持ちで日本銀行屈指の国際派として活躍された方ですが、その方が何故「居合と刀」の沼にはまったのかについて、「日本史上最強の剣豪は誰か」といった話や模擬刀を使った実演も交えつつ、本格的な着物姿でご講演頂きました(写真参照)。

その後、二松学舎大学最上階のレストランで、皇居越しに、スカイツリーと東京タワーと大手町のビル群の夜景を眺めながら、対面での懇親会を行い、大いに盛り上がりました。



松田 邦夫さん

名古屋支部だより

名古屋支部長 中嶋 利幸 (19期)



● 名古屋支部 連絡先

〒466-0812
名古屋市中昭和区八事富士見1304
TEL & FAX
052-834-0607
E-mail
tosrom314@re.commufo.jp

名古屋地区では東海地方に在住の卒業生を対象に、経済学部同窓会と合同して「名古屋待兼会」を運営していますが、発足は昭和30年代と60年以上の歴史があり、現在では大阪大学全学部の卒業生に門戸を広げて活動しています。

会の主な活動は年4回の例会と11月の年次総会です。例会では持ち回りによる担当講師の講話(約30分)の後、食事をしながら懇談をして交流を深めるという内容です。

コロナ禍により二年ほど休会を余儀なくされたものの「旧知の仲間と気楽に語りたい」という会員からの強い要望もあり、2022年6月から活動を再開し、以前と変わらぬ活動を継続しています。昨年の例会のテーマは、「地政学からみた日本の役割」、「睡眠の仕組みと睡眠薬について」、「枕草子を学ぶ」、「オカリナ演奏会」と幅広いテーマで見識を深めました。

11月の総会には来賓として母校より佐々木経済学部長をお迎えして、「スポーツ経済学のすすめ」をテーマにご講演を頂き、また大学渉外部門の中村麻貴さんから大学の現況、未来基金についてお話を頂きました。

青雲会の会員で就職や転勤等で新しく東海地区に来られる方はこれまで以上に増えています。そうした方々に『名古屋待兼会』という集まりがあることを知って頂き、一緒に楽しく語らう仲間を増やしていきたいと思っています。

ご関心がおありの方は是非、左記にご連絡頂けますようお願いいたします。

今後の予定(年内)

- 例会 4月12日(土) 6月21日(土) 9月20日(土)
- 総会 11月15日(土)



青雲会 ゴルフ同好会

山西 雅人 (30期)

<https://www.seiunkai.net/kouryu/golf/index.html>


ゴルフ同好会は2022年4月、約10年ぶりに再開しました。再開後第6回ゴルフ同好会は2024年9月28日(土)、有馬富士カンツリークラブ(兵庫県三田市)にて開催しました。

最高気温は26℃。暑さも和らぎ絶好のゴルフ日和となった一日、24期から58期の会員がプレイを楽しみました。

今後も年2回、春と秋に開催する予定です。老若男女、巧拙問わず、皆様のご参加をお待ちしております。

←第6回 参加の皆さん

70周年記念事業へのご寄付 お礼と報告

このたびは、法学部創立70周年・高等司法研究科創立20周年・青雲会創立70周年の記念事業に対してご寄付を賜り、誠にありがとうございました。3月末をもって寄付の募集を終了させていただきました。

おかげ様で法人および教員を含め会員の皆様215名の方々から6,909,215円のご寄付をいただきましたのでご報告いたします。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

記念事業につきましては、法学部の主要教室に録画配信システムを設置させていただきます。法学部の授業や講演会・行事等に大いに役立てていただくとともに、遠隔地在住の青雲会会員の皆様の諸行事への参加機会が増えますことを大いに期待しています。

ご寄付をいただきました方々への感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。(掲載を希望されない方につきましては掲載していません。)

70周年記念事業ご寄付者芳名録

下記の皆様から大阪大学未来基金の【青雲教育研究事業(法高青雲会周年事業)】を通じてご寄付をいただきました。

法 人		福 岡 勇		在 田 正 秀		山 上 龍 造		教 員(元教員)	
一般財団法人大阪大学後援会		新制21期~新制30期		池 尻 和 生		安 部 奈 緒 美		上 川 龍 之 進	
三井住友信託銀行株式会社		小 野 雅 裕		稲 葉 一 生		佐 藤 建		櫻 井 美 幸	
卒 業 生		上 垣 内 康 夫		那 須 裕 之		嶋 津 裕 介		島 岡 ま な	
新制1期~新制10期		笹 山 徹		福 田 健 次		中 川 正 義		嶋 谷 泰 典	
米 野 元 夫		牧 野 恒 廣		牧 真 千 子		加々山 敬 久		清 水 真 希 子	
小 野 夏 樹		川 崎 裕 子		小 寺 史 郎		木 下 威 英		下 村 眞 美	
大 石 聖 子		樹 下 康 夫		戸 川 恵 雄		細 田 祥 子		新 谷 俊 彦	
塚 口 純 行		栗 岡 利 明		藤 井 修 治		松 尾 吉 洋		高 橋 慶 吉	
松 田 節 子		森 永 洋 子		三 木 章 平		小 関 伸 吾		瀧 口 剛	
村 山 和 一		山 本 茂 伸		三 木 秀 夫		坂 川 雄 一		武 田 邦 宣	
魚 谷 博		置 田 文 夫		山 西 雅 人		陳 愛		地 神 亮 佑	
的 場 悠 紀		加 堂 裕 規		新制31期~新制40期		松 田 キ ミ		津 島 将 司	
田 中 襄 二		後 岡 良 知		大 石 佳 能 子		石 田 理		戸 塚 登	
都 築 恭 子		松 井 繁 幸		亀 田 浩 一		大 石 歌 織		中 嶋 啓 雄	
井 戸 田 博 史		松 井 直 樹		久 保 剛 彦		小 野 誓 子		長 田 真 里	
金 平 隆 弘		三 好 勝		友 田 公 一		杉 山 健 志		中 村 瑞 穂	
秋 山 晴 男		岩 本 洋 子		中 川 晴 夫		杉 山 洋 史		西 畑 一 哉	
中 江 伸		片 岡 和 行		永 田 朗		後 藤 宏 徳		林 智 良	
新制11期~新制20期		藤 野 美 保		幸 寺 覚		本 宮 亜 希 子		平 田 健 治	
荒 西 宏 保		森 宏 司		西 田 博 昭		宮 宅 宏 和		福 井 康 太	
白 賀 洋 平		森 信 静 治		有 村 と く 子		新制51期~新制60期		松 田 岳 士	
山 口 勝 之		木 村 清 志		塩 野 隆 史		荒 木 登		松 本 和 彦	
朝 田 裕 之		常 陰 均		片 岡 利 雄		吉 田 め ぐ み		的 場 か お り	
松 本 峻		長 井 浩 一		山 本 靖		岡 本 仁 志		水 島 郁 子	
中 川 清 孝		西 尾 公 一		岩 井 泉		坂 和 宏 展		水 谷 規 男	
野 口 勝 彦		細 井 正 弘		西 井 秀 行		日 沖 健		三 成 賢 次	
原 田 雅 男		宮 田 克 行		松 川 誠 司		向 井 大 輔		吉 本 健 一	
山 本 紘 之		山 本 貢		小 野 順 子		麻 生 川 典 晃		保護者・在学生	
後 藤 貞 人		犬 伏 寛		吉 田 郁 子		醍 醐 龍 馬		残 華 要 子	
田 部 雅 晴		木 崎 正		上 田 憲		新制61期~		曾 和 靖 博	
山 田 幸 男		京 盛 信 裕		下 村 富 久		廣 政 直 樹		田 中 良 樹	
吉 川 直 樹		齊 藤 雄 彦		宮 北 泰 成		正 留 世 成		谷 村 平	
黒 田 嘉 次 郎		初 谷 勇		鬼 崎 は じ め		藤 本 和 弘		浜 谷 卓 也	
森 内 賢 一		亀 井 克 一		鈴 木 祥 三		堀 内 涼 太 郎		光 崎 裕 二	
出 水 順		深 川 優 一 郎		珍 坂 雄 一 郎		水 野 雄 介		砂 金 菜 緒	
安 藤 徹 児		松 村 聡		新制41期~新制50期		松 浦 奨			
倉 持 順 市		山 本 明 人		岩 本 朗		尾 崎 直 子			
金 田 廣 明		山 本 哲 男		林 邦 彦		富 山 祥 貴			
千 藤 洋 三		芦 辺 真 幸		中 野 貴 紀					
								(敬称略・順不同)	
								2025年3月31日現在	

青雲会運営賛助金 ご芳名録

このたびは運営賛助金のご寄付を賜り誠にありがとうございます。

会員の皆様147名の方から、1,453,000円の運営賛助金のご寄付を頂戴致しましたのでご報告致します。

運営賛助金にご理解いただきご寄付を頂いた方々に感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。

(掲載を希望されない方につきましては掲載していません。)

心より感謝申し上げますと共に、引き続き青雲会活動への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

青雲会会長 山西 雅人

卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名
旧制I期～新制10期		新制17期	松本 收司	新制28期	松田 邦夫	新制41期～新制50期	
旧制I期	荒木 豊治郎	新制17期	吉川 直樹	新制28期	松村 聡	新制41期	岩本 朗
新制1期	戸塚 登	新制18期	黒田 嘉次郎	新制29期	在田 正秀	新制41期	兎玉 優子
新制2期	小野 夏樹	新制18期	竹森 正孝	新制29期	池尻 和生	新制41期	山田 玲子
新制4期	牧野 利秋	新制18期	森内 賢一	新制29期	住友 酉次	新制43期	若松 円
新制4期	村山 和一	新制19期	安藤 徹児	新制29期	稲葉 一生	新制45期	大江 千佳
新制4期	和田 秀朗	新制19期	出水 順	新制29期	岩倉 広修	新制45期	嶋津 裕介
新制5期	魚谷 博	新制19期	山口 進	新制29期	福田 健次	新制46期	加々山 敬久
新制5期	的場 悠紀	新制20期	皆見 一夫	新制30期	沖田 拓司	新制46期	西口 崇
新制7期	青木 克夫	新制21期～新制30期		新制30期	高部 順	新制46期	稲田 正毅
新制7期	住原 廣	新制21期	北岡 満	新制30期	三木 章平	新制46期	細田 祥子
新制7期	田中 襄二	新制21期	笹山 徹	新制30期	若園 敦雄	新制46期	木下 威英
新制7期	山村 忠三	新制21期	牧野 恒廣	新制30期	三木 秀夫	新制46期	松尾 吉洋
新制8期	藤田 卓三	新制22期	山本 茂伸	新制31期～新制40期		新制47期	松田 キミ
新制8期	若林 崇	新制23期	置田 文夫	新制31期	永田 朗	新制47期	坂川 雄一
新制9期	生田 征治	新制23期	加堂 裕規	新制31期	瀧口 剛	新制47期	陳 愛
新制9期	山蔭 克己	新制23期	松井 繁幸	新制31期	友田 公一	新制48期	杉山 健志
新制10期	小浜 正幸	新制24期	岩本 洋子	新制32期	善野 誠	新制49期	後藤 宏徳
新制10期	竹川 正英	新制24期	岡本 靖	新制32期	西田 博昭	新制50期	清水 三沙
新制10期	中江 伸	新制24期	片岡 和行	新制32期	下村 眞美	新制51期～新制60期	
新制11期～新制20期		新制24期	鈴木 浩	新制32期	幸寺 覚	新制51期	GERENCESE R GA' BOR
新制11期	荒西 宏保	新制24期	森 宏司	新制33期	榎本 陽一	新制52期	吉田 めぐみ
新制12期	服部 和雄	新制25期	明里 一平	新制34期	板倉 勝	新制54期	向井 大輔
新制12期	八代田 憲司	新制25期	加子 栄一	新制34期	塩野 隆史	新制59期	麻生川 典晃
新制12期	吉田 和美	新制25期	常陰 均	新制35期	三木 康裕	新制61期～	
新制13期	野地 秀男	新制25期	西尾 公一	新制35期	山本 靖	新制61期	廣政 直樹
新制13期	山口 勝之	新制25期	細井 正弘	新制36期	青山 晶彦	新制63期	藤本 和弘
新制14期	永渕 弘幸	新制25期	山本 貢	新制36期	新谷 俊彦	新制64期	後友 香太
新制14期	松本 峻	新制26期	木崎 正	新制38期	上田 憲	新制64期	大川 颯太
新制15期	今城 功勝	新制26期	佐藤 建	新制38期	奥田 雅英	新制67期	堀上 侑紀
新制15期	小林 克彦	新制26期	永禮 宏子	新制39期	鬼崎 はじめ	新制67(9月卒)期	尾崎 直子
新制15期	中川 清孝	新制27期	亀井 克一	新制39期	珍坂 雄一郎	大学院修了(入会)	
新制15期	野口 勝彦	新制27期	篠崎 光宏	新制39期	中村 達夫	司法14期入会	横道 慶典
新制15期	林 宏中	新制27期	西畑 一哉	新制39期	寺澤 真由美	司法18期入会	石橋 寿夫
新制15期	原田 雅男	新制27期	深川 優一郎	新制39期	森 優	(敬称略・順不同)	
新制16期	松井 英樹	新制27期	藤本 政彦	新制39期	山崎 弥生	2025年3月31日現在	
新制17期	熊代 均	新制28期	成地 勉	新制40期	大塚 友美		
新制17期	田部 雅晴	新制28期	福岡 則博	新制40期	菅 聡一郎		

活躍する卒業生I



「患者視点」で医療を変革

株式会社メディヴァ 代表取締役社長

大石 佳能子 (31期)

法学部出身ですが、医療の仕事をしています。息子を出産するときに、初めて定期的に病院に通い、その時感じた違和感が今の仕事に繋がっています。

雇用機会均等法の少し前に卒業し、大手金融に勤めたものの「一生ここに居てもなあ、、、」と思い、一念発起して、ハーバード大学でMBAを取りました。卒業後は戦略コンサルタントのマッキンゼー社に勤め、消費財・小売業部門のパートナーに昇格。息子を出産したのはその頃です。

マッキンゼーでは、徹底した「顧客視点」に立った企業経営をテーマにしていました。ところが、病院に雇ると、「患者視点」が全くありません。延々たる待ち時間、機械的な応対、オペレーションの悪さなどに会い、非常に驚きました。

「患者視点」が感じられないだけでなく、そこで働く医師や看護師も幸せそうではなく、忙しくバタバタと駆け回っています。しかも、調べると病院の大部分は赤字。国も医療費で破綻すると言っています。「誰もwinしてないじゃない?」という不思議な世界でした。

それから数年経って、知り合った医師と一緒に株式会社メディヴァを創業しました。メディヴァはヘルスケアの専門コンサルティング会社ですが、自分たちの「現場」を持っています。

医療界、介護界はなかなか新しいことには取り組まないで、やってみせないと革新は生まれません。「現場」は自分たちで立上げ、運営し、新しいことを実証します。現在は20か所のクリニック(うち海外1)、6か所の病院、10か所の介護関係施設を運営しています。

開設当初からのテーマは徹底した「患者視点」です。「医療界はこう」と押し付けるのではなく、「患者がしてほしいこと」を考えます。例えば、今ではカルテ開示も広がっていますが、開設当初より、患者全員に印刷したカルテをお渡しました。またいつでもどこでもインターネットを通して自分のカルテへのアクセスを可能としました。

「患者視点」に立つためには、ICT化、DX化、AI化が鍵だと考えています。「仕組み」で「赤ひげ先生」をつくることです。例えば、訪問診療の現場では、24時間、36

5日の患者対応が求められます。医師がスマホでカルテをいつでもどこでも閲覧でき、手元で病院向けの紹介状をつくれるようにしました。夜間は当直医がそのカルテを見ながら往診に行きます。DX化することにより、医師の残業をなくすことができ、多くの子育て中の女医が訪問診療に取り組んでいます。

現場での実証を邪魔する規制に当たった時は、白書にまとめて発表していました。そのうち、政府の委員会に呼ばれるようになりました。新型コロナの直前からは内閣府規制改革推進会議の医療・介護ワーキンググループの座長を務め、オンライン診療の特例解禁を手掛けました。新型コロナが収束した後、オンライン診療はへき地、準へき地の医療の底上げに役立っていると思います。

今後、保険財政は益々厳しくなるでしょう。その中で、「患者視点」を追求するには、更なる「仕組み化」が求められます。一昨年から中小病院を再生させて、DX化し、AIホスピタルに転換する構想もスタートしました。全く畑違いの分野から飛び込んだ医療界ですが、日々新たなチャレンジを楽しみながら過ごしています。



2015年大阪大学平野総長と(卒業式で卒業生代表として挨拶をさせて頂きました)



新型コロナ中に世田谷区の現場(クリニック)にて

活躍する卒業生II



世界の理不尽ともつれ合う エキサイティングな仕事

特定非営利活動法人メドゥサン・デュ・モンド ジャпон(世界の医療団)
海外事業プロジェクト・コーディネーター 中嶋 秀昭(42期)

在学中は黒澤満ゼミ(軍縮国際法)と坂元一哉ゼミ(国際関係論)に所属しました。本来は41期生なのですが、恥ずかしながら教養部から専門課程に進む間に留年しています。

幼い頃から「知られざる世界」といったドキュメンタリーが好きで(※中東戦争の影響等が取り上げられていたのを覚えています)、高校生の頃は英語と洋楽が好きになり、その頃ちょうど”We Are The World”という楽曲に代表されるエチオピア飢餓救援キャンペーンが繰り返されました。これで当地と日本の格差に衝撃を受け、国連で働きたいと思い、法学部に入った次第です。二次試験が英語と小論文のみというのが性に合っていました。

学生時代は主に途上国の学生との交流やスタディーツアー、会議を行うサークルに所属しました。この活動にのめり込んだため留年したとも言えますが、留年中もサークル活動を継続し、パプアニューギニアをバックパック旅行したりしました。

ゼミでも劣等生でしたが、学業・学生生活を通じて漠然ながら広く世界を認識・理解する素地が養われたと思います。ただ、先輩である中田厚仁氏が国連カンボジア暫定統治機構による内戦後の選挙実施支援に国連ボランティアとして参加され、殉職されるという出来事もありました。悲しみと憤りを覚えるとともに国際社会の非情さや途上国支援の困難さも感じました。卒業後はいったん日経新聞に入り、記者(外為・日銀担当等)として2年間のみ勤務しましたが、結局、若気の至りでしょうが、このような世界に肌が合わないと感じたのと、大学入学前や学生時代の関心、中田さんを知ったことを含む学生時代に得た経験に基づいて途上国の人々の役に立つ仕事にやはり就きたいとの思いを強くし、フェアトレード商社に転職。その後、NGOに入職してからこれまで20年以上、NGO職員や開発援助コンサルタント、JICA企画調査員として仕事をしております。

現在、隣国ミャンマーからバングラデシュに逃れたロヒンギャ難民と周辺コミュニティ住民を対象にした保健分野支援に主に携わっています。これまで南スーダンやリビアなどの紛争後国・地域を含む10ヶ国以上で主に同分

野支援に携わってきました。この仕事を通じて、政治・経済・社会の「構造的暴力」の根深さとこれの理不尽さに憤る一方、逆境の中にいる人々の力強さ(レジリエンス)に感心し、これから学ばされています。広く世界を見、さまざまな人々と交流しながら、微力ながら現地の人々とともに彼らの役に立つ方策を探り、実践できることにやりがいを感じています。

ただ、皆様もご承知のように、残念ながら、ウクライナ紛争、スーダン内戦、ミャンマーでの軍による人々への攻撃等、多数の人道危機が起こり続けています。難民や国内避難民等、こうした紛争や自然災害で故郷を離れざるを得ない人々は増え続け、現在、世界で日本の人口に匹敵する1億2千万人(世界人口の約1.5パーセント)¹となっています。今後、気候変動の進展にもより、こうした人々はさらに増え続けるかもしれません。けっして平和な世界ではありませんが、あきらめずに粘り強く私達が力を合わせていくことが必要であると信じています。微力ながら、尽力し続けたいと思います。

¹ 数字で見る難民情勢(2023年) - UNHCR Japan



ロヒンギャ難民キャンプの支援先診療所にて



似てる?ピリケンさんと。と言うと失礼?

2024年度青雲会行事等報告

月	日	曜	行事等
2024年			
4	1	月	法学部1年生オリエンテーション(於:大阪大学豊中キャンパス) 高等司法研究科1年生オリエンテーション(於:大阪大学豊中キャンパス)
	3	水	法学研究科1年生オリエンテーション(於:大阪大学豊中キャンパス)
	24	水	第1回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
	26	金	2024年度青雲会会報発行
6	11	火	第2回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
7	20	土	青雲会総会(於:大阪新阪急ホテル)
	27	土	第80回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
9	17	火	第3回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
	26	木	青雲キャリア支援基金第1回運営委員会(メール審議)
	28	土	第6回ゴルフ同好会
10	15	火	青雲懸賞論文募集開始(2025年1月9日締切)
11	16	土	名古屋支部総会

月	日	曜	行事等
12	10	火	第4回幹事会・忘年会(於:西梅田「うおまん」)
	14	土	東京支部総会
	21	土	第81回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
2025年			
1	17	金	大阪大学文系学部同窓会幹事合同懇談会
2	12	水	第5回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
3	7	金	青雲懸賞論文審査結果発表
	17	月	青雲キャリア支援基金第2回運営委員会(メール審議)
	25	火	卒業式、青雲懸賞論文表彰式 卒業修了祝賀会
	29	土	第7回ゴルフ同好会

2024年度決算報告と2025年度予算(案)

2025年度 青雲会役員体制(案)

任期：2025年4月1日～2027年3月31日

(概要)

収入の部 (単位:千円)			支出の部 (単位:千円)		
項目	2024年度 決算	2025年度 予算	項目	2024年度 決算	2025年度 予算
会費収入	4,621	5,700	総会費	1,166	1,056
懇親会収入	703	685	会報費	2,946	2,987
運営賛助金収入	1,453	1,750	ソフト保守費	517	530
その他収入	36	61	支部助成金	350	350
			ローヤリング助成金	100	100
			一般助成金	188	200
			懸賞事業費	377	380
			司法基金援助金	300	300
			塾・部活動費	60	100
			若手交流会	0	20
			人件費	673	700
			その他経費	1,493	1,473
収入計	6,813	8,196	支出計	8,170	8,196

(単位:千円)		
収支差額		△1,357 0
前期繰越金	4,487	3,130
次期繰越金	3,130	3,130

※本案は総会でご審議いただけます。

役職	氏名	期	担当(*:主担)
名誉会長	長田真里	41期	
会長	山西雅人	30期	
副会長	稲嶺一夫	30期	・組織強化(正会員)*・交流促進・WEB管理・青雲塾・総会
副会長	麻田伸司	31期	・財務・組織強化(正会員)・交流促進*・WEB管理・青雲塾*・キャリア支援*
副会長	嶋谷泰典	31期	・財務・交流促進・青雲懸賞論文・会報*
副会長	幸寺覚	32期	・財務*・組織強化(正会員)・青雲懸賞論文・キャリア支援
副会長	大石歌織	48期	・財務・組織強化(正会員)・若手交流会・キャリア支援・総会*
副会長	古野裕衣子	57期	・組織強化(準会員)・交流促進・WEB管理・若手交流会*・総会
副会長	醍醐龍馬	60期	・組織強化(準会員)・青雲懸賞論文*・総会・会報
副会長	桂田祐希	64期	・組織強化(準会員)*・WEB管理*・若手交流会・会報
幹事	(各期)		
	うち特に担当を委嘱する幹事		
	西畑一哉	27期	・懸賞論文審査
	松田邦夫	28期	・懸賞論文審査
	末澤豪謙	32期	・懸賞論文審査
	稲田正毅	46期	・懸賞論文審査
	木村真也	46期	・懸賞論文審査
	堀木由紀	46期	・懸賞論文審査
会計監事	西村元昭	14期	
会計監事	松本綾	40期	

※副会長の担当については現在調整中ですので暫定案となっています。

事務局

事務局 長	西尾光代	30期
-------	------	-----

I 事務局からのお知らせ

青雲会 入会金と年会費の改定について

さる2024年7月20日の青雲会総会におきまして、下記の通り「会費に関する規程」の改定案が承認されました。入会金支払者の増加と活動への参加を促進しつつ、会の財務状況の維持を目指して改定いたしました。

2025年4月1日より入会金が5,000円、年会費が4,000円となります。

なにとぞご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

「せいうんエンサポ!」について

青雲会では2022年12月に準会員(在学生)向け就職支援の仕組みとして「せいうんエンサポ!」(青雲会エンプロイメントサポートプロジェクト)を発足させました。

<https://www.seiunkai.net/student/index.html#ensupo>

「せいうんエンサポ!」は、まず在学生の訪問を受けてもよいと考えるOB・OGに名簿に登録いただき、在学生からの要望に応じてOB・OG訪問を実施いただくというものです。正会員の皆様におかれましては、後輩の就職活動が順調に進められるよう、是非OB・OG名簿に登録くださるようお願いいたします。登録方法の詳細は青雲会事務局までお問い合わせください。